

灵局新村











村民の皆様へ

平成23年3月11日の「東日本大震災」や令和元年10月12日の「令和元年東日本台風」では、本村に甚大な被害をもたらしました。また、近年では、大規模地震、大雨、台風などによる災害が多く発生し、各地で甚大な被害がでています。

災害は、いつ・どこで・どのように発生するかわかりません。村では、地域住民の安全を守る ため防災対策に努めているところですが、安全な地域づくりは、行政機関の取り組みだけでは 不十分です。皆さん一人ひとりが、日頃から防災の意識を高く持っていただくことが大切であ り、いざという時の避難方法などの対策を考えておく必要があります。

地域防災は、

○自助… 自分自身の身の安全を守ること(家族も含まれます)

〇共助… 地域や周囲の人たちが協力して助け合うこと

○公助… 市町村や消防、県や警察、自衛隊といった公的機関による救援・救助

の3つの要素が重要となり、連携することが不可欠となっています。

この防災マップは、皆さんがお住いの地域の危険個所の情報や避難場所、また防災に関する情報をわかりやすく掲載しています。

ぜひ、ご家庭の目につくところに常備していただき、家族や地域で災害に対する話し合いの 中でご活用いただきますようお願いいたします。

> 令和3年3月 泉崎村長

·索引 1

村民の皆様へ・索引	1
避難行動ガイド①	2
避難行動ガイド②	3
特別警報をご存知ですか?	4
風水害対策について	5
土砂ハザード情報について	6
洪水ハザード情報について	7
地震対策について	8
火災対策について	9
わが家の防災対策&チェック	10

引

非常時	持出品の準備&チェック	11
わが家	の「防災・緊急情報」メモ	12
ライフラ	イン・医療機関・行政機関連絡先一覧	13
VII	急避難場所·指定避難所 避難所·AED設置一覧	14
泉崎村	全図	15·16
詳細図	No.1	17·18
詳細図	No.2	19·20
詳細図	No.3	21 · 22
詳細図	No.4	23·24
詳細図	No.5	25·26

避難行動ガイドの

避難とは・・

避難は、災害から命を守るための行動であり、避難行動には次のような方法があります。

指定緊急避難場所・指定避難所への移動

警戒区域等内の自宅などから 移動し、安全な場所への避難 (公園、親戚や友人の家など)

屋外が安全で移動できる状態のとき

近隣の強固で 高い建物など への移動 建物内の安全な場所での待避 (家屋内への垂直避難)

やむを得ず、家屋内に留まった場合、安全を確保する避難行動 として、洪水対策では建物の2階以上高いところへ、土砂災害 対策では、斜面と反対方向の高い階への移動が有効です。

屋外が危険な状態のとき

避難行動に関しての行政発令の種類と、住民の皆さまの対応

避難勧告などは、災害の種類ごとに避難行動が必要な地域を示して発令しますが、地域やご家庭などの事情によって、「避難勧告」を待たずに避難が必要と考えられる場合は、「自主避難」をお願いします。

区分	立退き避難など住民の皆さまの行動
避難準備·高齢者 等避難開始	・気象情報に注意を払い、立退き避難の必要について考える。・立退き避難が必要と判断する場合は、その準備と立退き避難をする。・要配慮者(障がい者や高齢者で避難行動が困難な人)は、この段階で立退き避難をする。
避難勧告	・非常時持ち出し品をもって、立退き避難をする。
避難指示(緊急)	・避難勧告を行なった地域のうち、立退き避難がまだの人は、立退き避難する。 ・立退き避難することが、かえって危険と判断される場合は、屋内で安全を確保する。
災害発生情報	・既に災害が発生している状況であり、命を守るための最善の行動をとる。・村が災害発生を把握していない場合もあり、必ず発令されるものではないことに留意する。

※「自主避難」とは・・避難勧告などを待たず、自主的に地区集会所、親戚や友人の家などの安全な場所へ避難することです。その際は、出来るだけ必要な食糧、飲物、日用品などを持参するようにしてください。

※雨が降り続いていたら、テレビ・ラジオ・スマートフォン・パソコンなどで最新の気象情報を入手しましょう。特に、河川氾濫の浸水想定区域や土砂災害警戒 区域にお住まいの方は、自分で早めに判断し、「危ない」と思ったら、直ちに危険な区域から離れる行動(<mark>自主避難)</mark>することが命を守ることになります。



避難の際には、 ご近所にも声をかけあい、 地域で協力し合う避難を 心がけましょう。



お年寄りや 体の不自由な 方などの 避難に協力





インターネット・気象庁ホームページ

大雨のとき

村が大雨に関する各種情報や状況により判断し避難準備・高齢者等避難開始、避難勧告、避難指示 (緊急)、災害発生情報を発令します。また、避難準備・高齢者等避難開始が発令されずに避難勧告、 避難指示(緊急)が発令される場合もあります。



※特に土砂災害警戒区域等にお住まいの方は、早め早めに判断をして、「危ない」と思ったら、直ちに危険な区域から離れる自主避難をすることが命を守ることになります。

地震のとき

大きな地震やそれに伴う余震により家屋が倒壊し、又は倒壊するおそれがあるときに避難勧告、 避難指示(緊急)を発令します。



※直ちに避難所を開設するよう努めますが、災害の規模により時間がかかる場合があります。

火災のとき

大規模な延焼拡大のおそれがあるときに避難勧告、避難指示(緊急)を発令します。



その他

その他災害が発生するおそれがあるときに避難勧告、避難指示(緊急)を発令します。

避難行動ガイドの

住民の皆さまが、「自らの命は自らが守る」という意識のもと、自主的な避難を行うために、泉崎村・国・都道府県では防災情報を 5段階の警戒レベルにより提供します。日頃からいざという時に備えて、災害時の取るべき行動の確認をお願いします。

5段階警戒レベルについて



それぞれの警戒レベルに相当する情報を、早めの避難行動の判断に役立ててください。 泉崎村からの避難勧告等の発令に留意するとともに、避難勧告等が発令されていなくとも自ら 避難の判断をしてください。

警戒レベル5の状況では災害が発生して避難できなくなることから、警戒レベル3や4の段階で 避難することが重要です。

水害・土砂災害について、市町村が出す避難情報と、 国や都道府県が出す防災気象情報を、5段階※1に整理しました。

<避難情報等>

警戒レベル

警戒レベル 5

避難行動等

避難情報等

既に災害が発生している状況です。 命を守るための最善の行動をとりましょう。 災害発生情報※2 災害が実際に発生していることを 把握した場合に、可能な範囲で発令

(泉崎村が発令)

避難指示(緊急)

※3 地域の状況に応じて緊急的又は 重ねて避難を促す場合等に発令

(泉崎村が発令)

警戒レベルム

危険な場所から

かに危険な場所から避難先へ避糞 しましょう。 公的な避難場所までの移動が危険と思わ

れる場合は、近くの安全な場所や、自宅内の より安全な場所に避難しましょう。

警戒レベル 5 危険な場所から

高齢者_{等は}避難

しましょう。その他の人は、避難の準備 整えましょう。

避難準備. 高齢者等避難開始 (泉崎村が発令)

避難に備え、ハザードマップ等により、 警戒レベル 2 自らの避難行動を確認しましょう。

洪水注意報 大雨注意報等

(気象庁が発表)

警戒レベル 1

災害への心構えを高めましょう。

早期注意情報

(気象庁が発表)

<防災気象情報>

【警戒レベル相当情報(例)】

警戒レベル5相当情報

氾濫発生情報 大雨特別警報

警戒レベル4相当情報

等

等

氾濫危険情報 土砂災害警戒情報 等

警戒レベル3相当情報

氾濫警戒情報 洪水警報

これらは、住民が自主的 に避難行動をとるために 参考とする情報です。

**1 各種の情報は、警戒レベル 1 \sim 5 の順番で発表されるとは限りません。状況が急変することもあります。

A&Q

質問1)防災気象情報は出てるけど、避難情報が出ていないときはどうすればいいの?

⇒市町村は、様々な情報をもとに、避難情報を発令する判断を行うことから、必ずしも防災気象情報と同じレベルの避難情報が、同時に発令されるわけでは ありません。自らの命は自ら守る意識を持って、防災気象情報も参考にしながら、適切な避難行動をとってください。

質問2)避難指示(緊急)は、避難勧告と同じ警戒レベル4に位置付けられたけど、考え方が変わったの?

⇒避難指示(緊急)は、地域の状況に応じて緊急的に又は重ねて避難を促す場合などに発令されるもので、必ず発令されるものではありません。 避難勧告が発令され次第、避難指示(緊急)を待たずに速やかに避難をしてください。

質問3)洪水で「警戒レベル4相当情報」が既に出ているなかで、土砂災害で「警戒レベル3相当情報」が出たけど洪水のレベルも4から3に下がったということなの? ⇒洪水の危険性が4から3に下がったわけではありません。洪水は4のままで、土砂災害の3が追加されたのであり、その地域は洪水と土砂災害、両方の 災害を警戒する必要があります。

【警戒レベル5】では既に災害が発生しています。また、必ず発令されるものではありません。

【警戒レベル3】や【警戒レベル4】で、地域の皆さんで声をかけあって、安全・確実に避難しましょう。

辞別警告をご存知ですか?

特別警報は、大規模な災害の発生が切迫していることをお知らせする警報です。 普段からの備えと早め早めの行動があなたや身近な人の命を守ります。

特別警報の発表基準

現象の	D種類	基準				
大	雨	台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想される場合				
暴	風		暴風が吹くと予想される場合			
高	潮	数十年に一度の強度の台風や 同程度の温帯低気圧により	高潮になると予想される場合			
波	浪		高波になると予想される場合			
暴風	配雪	数十年に一度の強度の台風と同程度の温帯低気圧により雪を伴う暴風が吹くと予想される場合				
大	雪	数十年に一度の降雪量となる大雪が予想される場合				

表中の"数十年に一度"の現象に相当する降水量等の客観的な指標は気象庁ホームページで公表しています。

地震警報などを特別警報に位置づけます

現象の種類	基準
地 震 (地震動)	震度6弱以上の大きさの地震が予想される場合 (<mark>緊急地震速報 (震度6弱以上)</mark> を特別警報に位置づける)
火山噴火	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が予想される場合 (<mark>噴火警報(噴火警戒レベル4以上)</mark> 及び <mark>噴火警報(居住地域)</mark> を特別警報に位置づける)
津波	高いところで3メートルを超える津波が予想される場合 (大津波警報を特別警報に位置づける)

- ・尋常でない大雨や暴風等が予想されています。
- ・重大な災害が起こる可能性が非常に高まっています。
- ・ただちに身を守るために最善を尽くしてください。

命を守るために情報の収集に努め

特別警報は、自治体や報道機関を通じて 伝えられます。 テレビやインターネット、 自治体から発信される情報の収集に努 めてください。









- 「特別警報が発表されない」は「災害が発生しない」ではありません。
- ・これまでどおり注意報、警報、その他の気象情報を活用し、早めの行動をとることが大切です。
- ・普段から避難場所や避難経路を確認しておきましょう。

※気象庁HPより一部を抜粋して掲載

「特別警報」については、 気象庁HPに詳細が 掲載されていますので、 ご確認ください。

〒100-8122 東京都千代田区大手町1-3-4

電話: 03-3212-8341 FAX: 03-6689-2917 (耳の不自由な方向け)

気象庁ホームページ

https://www.jma.go.jp

特別警報について

https://www.ima.go.jp/jma/kishou/know/tokubetsu-keiho/

風水害対策について

大雨や強風は、わたしたちに何度も大きな災害をもたらしています。
ふだんから気象情報に十分注意し、避難の際もみんなで協力しましょう。

大雨情報をキャッチ! こんなときのわが家の安全対策



大雨注意報・ 警報の 発表基準

大雨注意報

大雨によって災害が起こる おそれがあると予測される場合

- ・表面雨量指数(注1)10
- · 土壌雨量指数(注2)85

大雨警報

大雨によって重大な災害が起こる おそれがあると予測される場合

(浸水害)表面雨量指数19 (土砂災害)土壌雨量指数135

記録的短時間大雨情報 1時間に雨量100mm

上記に併せて、洪水注意報・洪水警報が発表されます。

雨の強さと降り方

	1時間に20~30mm	1時間に30~50mm	1時間に50~80mm	1時間に80mm~
き取れない。	ワイパーを速くしても見づらい。側溝や下水、小さな川があふれる。	山崩れ、がけ崩れが起きや すくなり危険地帯では避 難の準備が必要	マンホールから水が噴出する。土石流が起こりやすい。 多くの災害が発生する。	雨による大規模な災害の 発生するおそれが強く、厳 重な警戒が必要

風の強さと吹き方

風速10∼15m/s	風速15~20m/s	風速20~25m/s	風速25m/s∼
風に向かって歩きにくくなる。 傘がさせない。	風に向かって歩けない。 転倒する人もいる。	しっかりと身体を確保しないと 転倒する。風で飛ばされた物で 窓ガラスが割れる。	立っていられない。 屋外での行動は危険。 樹木が根こそぎ倒れはじめる。

台風

日本には毎年多数の台風が接近あるいは上陸し、たびたび大きな被害をもたらします。 台風の接近が予想される際は、台風情報に十分注意し、被害のないように備えることが必要です。

	大きさ	風速15m/秒以上の半径		強さ	最大風速
大型	⊍(大きい)	500km以上800km未満		強い	33m/秒以上44m/秒未満
				非常に強い	44m/秒以上54m/秒未満
超大	(型(非常に大きい)	800km以上		猛烈な	54m/秒以上

集中豪雨

集中豪雨は、限られた地域に、突発的に短時間に集中して多量の雨が降ることで、「ゲリラ豪雨」とも言われています。 発生の予測は困難で、中小河川の氾濫、土砂崩れ、がけ崩れなどによる大きな被害をもたらすことがありますので、 気象情報に十分注意し、万全の対策をとることが必要です。

- ●ラジオやテレビなどの気象情報に注意する。
- ●村や防災関係機関の広報をよく聞いておく。
- ●停電に備え懐中電灯や携帯ラジオを用意する。
- ●非常時持出品を準備しておく。
- ●早く帰宅し、家族と連絡を取り、非常時に備える。
- ●飲料水や食料を数日分確保しておく。
- ●浸水に備えて家財道具は高い場所へ移動する。
- ●危険な地域では、いつでも避難できるよう準備をする。

つねに気象情報には、 注意して おきましょう!

注1 表面雨量指数:短時間の強い雨による浸水害の危険度の高まりを把握するための指数。降った雨が地中に浸み込まずに、地表面にどれだけ溜まっているか を指数化したもの。

注2 土壌雨量指数:大雨による土砂災害の危険度の高まりを把握するための指数。降った雨が土壌中にどれだけ溜まっているかを指数化したもの。

土砂ハザード情報について

土砂災害警戒情報が発表されていなくても、ふだんと異なる状況「土砂災害の前兆」に気付いた場合には、直ちに周りの人と安全な場所へ避難してください。日ごろから危険箇所・避難場所、避難経路を確認しておくことも重要です。

土砂災害の種類

がけ崩れ(急傾斜地の崩

地中にしみ込んだ水分が土の抵抗 力を弱め、雨や地震などの影響に よって急激に斜面が崩れ落ちるこ とをいいます。がけ崩れは突然起き るため、人家の近くで起きると逃げ 遅れる人も多く、被害者の割合も高 くなっています。







土石流

山腹・川底の石や土砂が長雨や集中豪雨などによって一気に下流へと押し流されることをいいます。その流れの速さは規模によって異なりますが、時速20~40kmという速度で一瞬のうちに人家や畑などを壊滅させてしまいます。





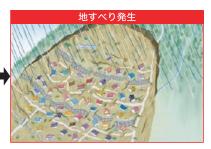


地すべり

斜面の一部あるいは全部が、地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面下方に移動する現象のことをいいます。一般的に移動土塊量が大きいため、甚大な被害を及ぼします。また一旦動き出すと、これを完全に停止させることは非常に困難です。







※上記は一般的な前兆現象です。すべての場合において必ず起きるというものではありません。ふだんと違い、少しでも身に危険を感じたら避難するようにしましょう。

土砂災害警戒情報とは

土砂災害警戒情報は、大雨警報 (土砂災害) が発表されている状況で、土砂災害発生の危険度がさらに高まったときに、 市町村長の避難勧告等の判断を支援するよう、また、住民の自主避難の参考となるよう、対象となる市町村を特定して警 戒を呼びかける情報で、都道府県と気象庁が共同で発表しています。

土砂災害危険箇所・土砂災害警戒区域等にお住まいの方は、特に早めの避難が重要です。泉崎村からの避難に関する情報に留意するとともに、土砂災害警戒情報を自主避難の参考にしてください。土砂災害警戒情報が発表されたときは、対象市町村内で土砂災害発生の危険度が高まっている領域を土砂災害警戒判定メッシュ情報(気象庁HP)でご確認ください。周囲の状況や雨の降り方にも注意し、危険を感じたらためらうことなく自主避難をお願いします。

危険箇所内の重要性の高い箇所について

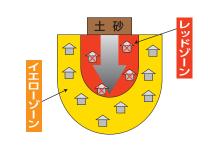
土砂災害防止法に基づき、福島県が計画的に基礎調査を実施し、危険箇所内の重要性の高い箇所について、「土砂災害特別警戒区域」と「土砂災害警戒区域」の指定及び見直しが行われています。

土砂災害 特別警戒区域(レッドゾーン)

建築物に損壊が生じ、住民に著しい危害が生じるおそれがある区域

土砂災害 警戒区域(イエローゾーン)

土砂災害のおそれがある区域



洪水ハザード情報について

H27年の水防法改正に基づき、阿武隈川で浸水域の公表がありました。 以下の情報を参考に、洪水時における対応についてあらかじめ確認しておきましょう。

氾濫の種類

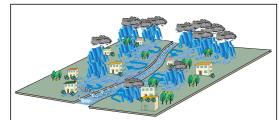
●雨量の増加によってもた らされる氾濫には、川か ら水があふれたり堤防が 決壊して起こる「外水氾 濫」と、排水が間に合わ ず、排水路などからあふ れ出す「内水氾濫」の2夕 イプがあります。

大雨の水が川に集まり、川の水かさが増し堤防を越える。あるその場所に降った雨水や、周りから流れ込んできた水がはけき が起きると一気に水かさが増しますので、最大の注意が必要



内水氾濫

いは堤防を決壊させて川の水が外にあふれておきる洪水。氾濫 れずに溜まっておきる洪水。川の水位が何mに達すれば警報を 出すなどの対応が難しいため、注意が必要



説明(外水氾濫)

●この「マップ」で使用している洪水ハザー ド情報は、阿武隈川が、大雨によって氾 濫した場合、洪水が想定される区域とそ の浸水の深さを示したものです。

●雨の降り方によっては、想定とは異なる浸 水深となったり、地図に表示された浸水区 域以外でも浸水することがあります。

■川が氾濫しない場合でも、低い土地など は浸水被害(床上・床下浸水など)が起こ る場合があります。十分注意しましょう。



阿武隈川の改正後の目安

)m	5.0m 以上の区域	
)m	3.0m~5.0m 未満の区域	2階の軒下まで浸水する程度
	0.5~3.0m 未満の区域	1階の全てが浸水する程度
5m	0~0.5m 未満の区域	大人の膝まで浸水する程度
-	0 0.0111列(周0)[23]	プラベラはいて反外する日皮

洪水情報の種類

洪水の危険性が高まった際に発表される情報

洪水注意報(気象庁)

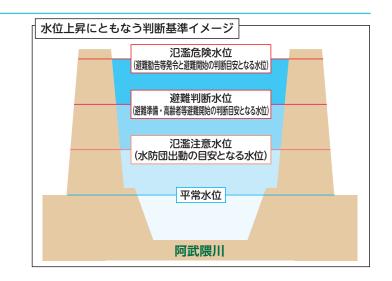
洪水によって災害がおこるおそれがある場合、その旨を 注意して行う予報

洪水警報(気象庁)

●洪水によって重大な災害がおこるおそれがある場合、そ の旨を警告して行う予報

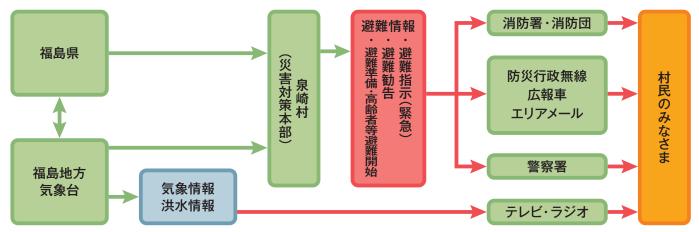
指定河川洪水予報など

●阿武隈川については、福島地方気象台が予測する降水量を もとに、河川を管理する福島県が河川水位の危険度を予測 し、共同発表します。



洪水情報伝達ルート

●気象の異常に対して、下図の伝達ルートで皆さんへお知らせします。



情報がなくても、異常気象(雷雨や異常な降雨)を感じたときには、避難の準備が必要です。危険を感じたときには、速やかに避難しましょう。

地震対策について地震発生! そんなときどうする

地震発生時の時間経過別行動マニュアル

とにかく自分の身を守ろう!

●地震だ!まず身の安全

大きな揺れを感じたり、緊急地震速報を受けたら、まず身を守り、 揺れがおさまるまで待ちましょう。

2~5分

しっかり火の始末で、火災防止!

●大揺れがおさまった

台所やストーブなど火の始末をしましょう。避難の時は、 電気のブレーカーを下ろし、ガスの元栓を閉めましょう。

5~10分

わが家の安全の確認、確保!

●火の始末のあと

家族の身の安全を確認、確保し、災害情報、避難情報を入手しましょう。 また、避難可能な出口も確保しましょう。

10分~半日

隣近所の安否確認、助け合い!

●外に出たあと

家の家具の下敷きになった人の救出や、消火活動を隣近所で協力して 行いましょう。

半日~3日

2、3日は自分でしのぐ!

地震発生後の数日間は、水、食料に加え、電気などの供給が途絶えます。 この間、日頃から、生活必需品(非常用品)を準備し、自分でしのげるようにしておきましょう。

屋内にいた場合

- ●揺れを感じたら、身の安全を確保し、すばやく屋外の安全な場所へ避難する。 ●揺れがおさまったら火の確認はすみやかに(コンセントやガスの元栓の処 置も忘れずに)。
- ●乳幼児や病人、高齢者など要支援者の安全を確保する。
- ●裸足で歩き回らない(ガラスの破片などでケガをする)。

●近くに空き地などがないときは、周囲の状況を冷静に判断

して、建物から離れた安全性の高い場所へ移動する。

●ブロック塀や自動販売機などには近づかない。

●倒れそうな電柱や垂れ下がった電線に注意する。

デパート・スーパー

●カバンなどで頭を保護し、ショーウィンドウや商品などから離れる。柱や壁 ぎわに身を寄せ、係員の指示を聞き、落ち着いた行動をとる。

●ドアや窓を開けて避難口を確保する。

●避難にエレベーターは絶対に使わない。

炎と煙に巻き込まれないように階段を

●カバンなどで頭を保護し、座席の間に身を

隠し、係員の指示を聞く。あわてずに冷静 な行動をとる。



屋外にいた場合

●その場に立ち止まら ず、窓ガラス、看板など の落下物から頭を力 バンなどで保護して、 空き地や公園などの 安全な場所に避難す



●ハンドルをしっかりと握り、徐々にスピードを落と し、緊急車両等の通行スペースを確保し、道路の左 側に止め、エンジンを切る。

使って避難する。

- ●揺れがおさまるまで冷静に周囲の状況を確認し て、カーラジオで情報を収集する。
- ●避難が必要なときは、キーはつけたまま、ドア ロックもしない。車検証などの貴重品を忘れずに 持ち出し、徒歩で避難する。

海岸付近

●高台へ避難し津波情報をよく聞く。注意報・警報 が解除されるまでは海岸に近づかない。

- ●つり革や手すりに両手でしっかりつかまる。
- ●途中で止まっても、非常コックを開けて勝手に 車外へ出たり、窓から飛び降りたりしない。
- ●乗務員の指示に従って落ち着いた行動をとる。



火災対策について 火災発生!そんなときどうする

初期消火の3原則

1人で消せるだろうと考えず、隣近所に火事を知らせ、すみやかに119番通報を。 初期消火で火事を消せなかったら、すばやく避難しましょう。

早く知らせる

- ●「火事だ」と大声を出し、隣近所に援助を求める。声が出なければやかんなどを叩き、
- ●小さな出火でも119番に通報する。当事者は消火に当たり、近くの人に通報を頼む

早く消火する

- ●出火から3分以内が消火できる限度。
- ●水や消火器だけで消そうと思わず、座布団で火を叩く、毛布で覆 うなど手近のものを活用する。

火元別初期消火のコツ

油なべ

あわてて水をかけるのは厳禁。消火器がな ければ濡らした大きめのタオルやシーツを 手前からかけ、空気を遮断して消火を。

風呂場

風呂場からの出火に気づいても、いきなり 戸を開けるのは禁物。空気が室内に供給さ れて火勢が強まる危険がある。ガスの元栓 を締め、徐々に戸を開けて一気に消火を。

石油ストーブ

真上から一気に水をかけて消火(斜めにか けると石油が飛び散って危険)。石油が流れ てひろがっていくようなら毛布などで覆い、 その上から水をかけて消火を。

電気製品

いきなり水をかけると感電の危険が。まず コードをコンセントから抜いて(できればブ レーカーも切る)消火を。

衣 類

着衣に火がついたら転げまわって消すのも 方法。髪の毛の場合なら衣類(化繊は避け る)やタオルなどを頭からかぶる。

カーテン・ふすま

カーテンやふすまなどの立ち上がり面に火 が燃え広がったら、もう余裕はない。引きち ぎり蹴り倒して火元を天井から遠ざけ、そ の上で消火を。

●天井に火が燃え移った場合は、速やかに避難する。

●避難するときは、燃えている部屋の窓やドアを閉めて空気を絶つ。

消火器の使い方

早く逃げる



安全ピンに指をかけ 上に引き抜く。



レバーを強く握って ホースをはずして火 噴射する。



粉末・強化液消火器の場合

- ●風上に回り風上から消す。火災にはまともに正面から立ち向かわないように。
- ●やや腰を落して姿勢をなるべく低く。熱や煙を避けるように構える。
- ●燃え上がる炎や煙にまどわされずに燃えているものにノズルを向け、火の根 元を掃くように左右に振る。

火災警報器の設置義務化

元に向ける。

消防法の改正により、住宅用火災警報器の設置が義務付けられています。

火災による死傷者を無くすためにも設置しましょう。

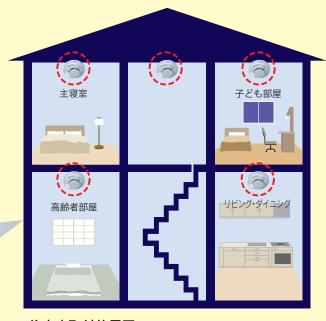
火災警報器の設置場所

- ●寝 室…すべての寝室(子ども部屋や高齢者の部屋など就寝に使わ れている場合は対象となります)への設置が必要です。
- ●階 段…寝室のある部屋の階段の天井などへの設置が必要です。 ●台 所…台所については、設置をおすすめします。
- 注意:住宅用火災警報器は電池式のものが主流です。電池の寿命は5年 から10年と言われていますので、早めの交換をお願いします。 警報器の音を事前に確認することも重要です。



火災警報器

9



住宅内取付位置図

わが家の防災対策&チェック

家の中の安全対策

事前に準備出来ているか、チェック▼しましょう。

□ 家の中に逃げ場としての安全な空間をつくる

部屋がいくつもある場合は、人の出入りが少ない部屋に家 具をまとめて置く。無理な場合は、少しでも安全なスペース ができるよう配置換えする。



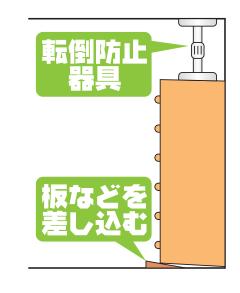
□ 安全に避難するため、出入口や通路にものを置かない 玄関などの出入口までの通路に、 家具など倒れやすいものを置か

ない。また、玄関にいろいろもの を置くと、いざというときに、出入 口をふさいでしまうことも。



□ 家具の転倒を防ぐ

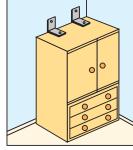
家具と壁や柱の間に遊びがあると倒れやすい。家具の下 に小さな板などを差し込んで、壁や柱によりかかるよう に固定する。また、金具や固定器具を使って転倒防止策



家具の転倒、落下を防ぐポイント

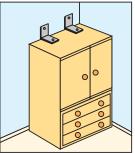
タンス・本棚

L字金具や支え棒など で固定する。二段重ね の場合はつなぎ目を 金具でしっかり連結し ておく。



冷蔵庫

2ドアの場合は、扉と 扉の間に針金などを 巻いて、金具で壁に固 定する。



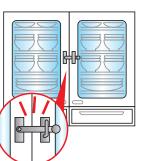
し、棚板には滑りにく い材質のシートやふき んなどを敷く。重い食 器は下の方に置く。扉 が開かないように止 め金具をつける。

食器棚

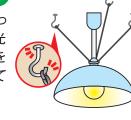
L字金具などで固定

できるだけ低い位置 に固定して置く(家具 の上はさける)。

テレビ



チェーンと金具を使っ て数箇所止める。蛍光 灯は蛍光管の両端を 耐熱テープで止めて おく。



ピアノ

本体にナイロンテープ などを巻きつけ、取り つけた金具などで固 定する。脚には、すべ り止めをつける。

家の周囲の安全対策

不安定な屋根のアンテナや、屋根

瓦は補強しておく。

□ ベランダ

植木鉢などの整理整頓を。落ちる 危険がある場所には何も置かない。

□ 窓ガラス

飛散防止フィルムをはる。



事前に準備出来でいるか、チェック▼しましょう。

□ ブロック塀・門柱

土中にしっかりとした基礎部分がな いもの、鉄筋が入っていないものは 危険なので補強する。ひび割れや 鉄筋のさびも修理する。

□ プロパンガス

ボンベを鎖で固定しておく。

□非常口の確保

非常時持出品の準備&チェック

いざというときすぐに持ち出せるように、日ごろから準備・点検しておきましょう。

非常時持出品(例)

事前に準備出来ているか、チェック▼しましょう。

携帯ラジオ



□ 電池(多めに用意)

救急医療品



□ 常備薬 □ 絆創膏 □ 傷薬 □ 包帯

□ 風邪薬 □ 胃腸薬 □ 鎮痛剤

貴重品



□現金 □ 預貯金通帳 □ 免許証 □ 健康保険証 □ 権利証書

懐中電灯

□ 懐中電灯(出来れば一人にひとつ)

□ 電池(多めに用意)

非常食品等

- □ 非常用食品 □ ミネラルウォーター
- □離乳食 □ 粉ミルク







その他

- □ 衣類(下着・上着など) □ 生理用品 □ 缶切り
- □ 紙皿
- □ 水筒 □ ウェットティッシュ
- □ ヘルメット □ 防災マップ(本書)
- □ タオル
- □ 紙おむつ □ 栓抜き
- □ 紙コップ □ カッパ
- □ ライター
- □ ラップフィルム
 - (止血や食器にかぶせて使う)

非常時用備蓄品(例)

災害復旧までの数日間(一週間)を生活できるようにチェック▼しましょう。

飲料水

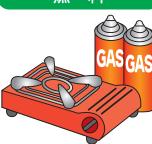


□ 飲料水としてペットボトルや 缶入りのミネラルウォーター (1人1日3リットルを目安に) 又は貯水した防災タンクなど

非常食品



- □ お米
- (缶詰・レトルト・アルファ米も便利) □ 缶詰・レトルト食品
- □ 梅干し・調味料など
- □ ドライフーズ・チョコレート・アメ (菓子類など)



- □ 卓上コンロ □ ガスボンベ
- □ 固形燃料

その他



- □ 生活用水(風呂・洗濯機などに貯水) □ 毛布·寝袋·洗面用具·
- ドライシャンプーなど
- □ 調理器具(なべ・やかんなど)
- □ バケツ・各種アウトドア用品など

いざというときに支障がないように、食品類の賞味期

避難生活が長引くときに便利なもの

携帯トイレ、使い捨てカイロ、裁縫セット、ガムテープ、 地図、さらし、筆記用具(マジックなど)、スコップなど。



ポリタンク、ホイッスル、予備の眼鏡・補聴器、ビニールシート、新聞紙、補助用 具としてロープ、スコップ、バールやハンマー、のこぎり、車のジャッキなど。

非常時持出品は、使用するときに支障のないように、定期的に点検しておきましょう。とくに食品や飲料水の賞味期限はま めにチェックし、賞味期限がせまったものから順に入れ替えておきましょう。

11

災害時に救助の方や、緊急時に救急隊・医療機関・村に情報を提供します。



非常時・緊急時に連絡してほしい方や、利用してもらいたい、わが家の情報です。

氏 名 電話 住 所 避難場所 尿族が離ればなれに

	氏	名	生年月日	電話(携帯·会社·	学校)	住	所	Х	Ŧ
京佐井代									
家族構成 連絡先									
建和7 6									
	丘	A	☆☆≖ □ -	は今、フレルギー		· 选	かいつけ匠	7=== 1 % ⟨ E	18

|血液型| 持病・アレルギー | かかりつけ医療機関 常備楽 家族の 緊急情報。 救急メモ 【 メ干】 ※書ききれなかった内容や、知ってほしい情報 (介護情報・救急隊員への伝言など) をお書きください。

	氏 名	間柄	電 話	住 所	Х	Ŧ
緊急時 連絡先						
連絡先						

災害用伝言ダイヤルの使い方

NTTでは、災害発生時に、被災地への通話がつながりにくい状況の場合、被災地内の安否等の情報を音声で録音、再生す 災害用伝言ダイヤルとは? る「災害用伝言ダイヤル」を設置します。NTT「災害用伝言板(web171)」との連携により、伝言内容を相互に確認が可能。

伝言の録音	171-1-0000-00-000(被災地の方の電話番号)	伝言保存期間	運用期間終了まで
伝言の再生	171-2-0000-00-000(被災地の方の電話番号)	伝言蓄積数	1電話番号あたり1~20件 (提供時にお知らせいたします)
伝言内容	1伝言あたり30秒以内	利用可能電話	固定電話、IP電話(050含む)、 携帯電話、PHS

避難場所・避難所とは?



避難場所

災害発生後の一時避難場所として、学校や公共施設などを指定しています。

避難所

災害による家屋の倒壊などで、居住場所を確保できなかった人たちの収容保護を目的として、物資の運搬・集積・炊事・宿泊などの利便性を考慮したうえで、学校・公民館・公共建築物などを指定しています。

避難が必要になったときにはまず「避難場所」へ、その後は「避難所」へと状況に応じて速やかに行動出来るように心がけましょう!

ライフライン・医療機関・行政機関連絡先一覧

ライフライン関連機関

名 称	電話番号	備考		
東北電力ネットワーク(株)	0120 - 175 - 366	 停電緊急時など 		
NTT 東日本	113(固定電話から) 0120 – 444 – 113(携帯から)	電話の故障・通信障害など		
泉崎村事業課建設水道係	0248 - 53 - 2114	水道設備の故障など		

医療機関

名 称	電話番号	備考
泉崎南東北診療所	0248 - 53 - 2415	

行政関係機関

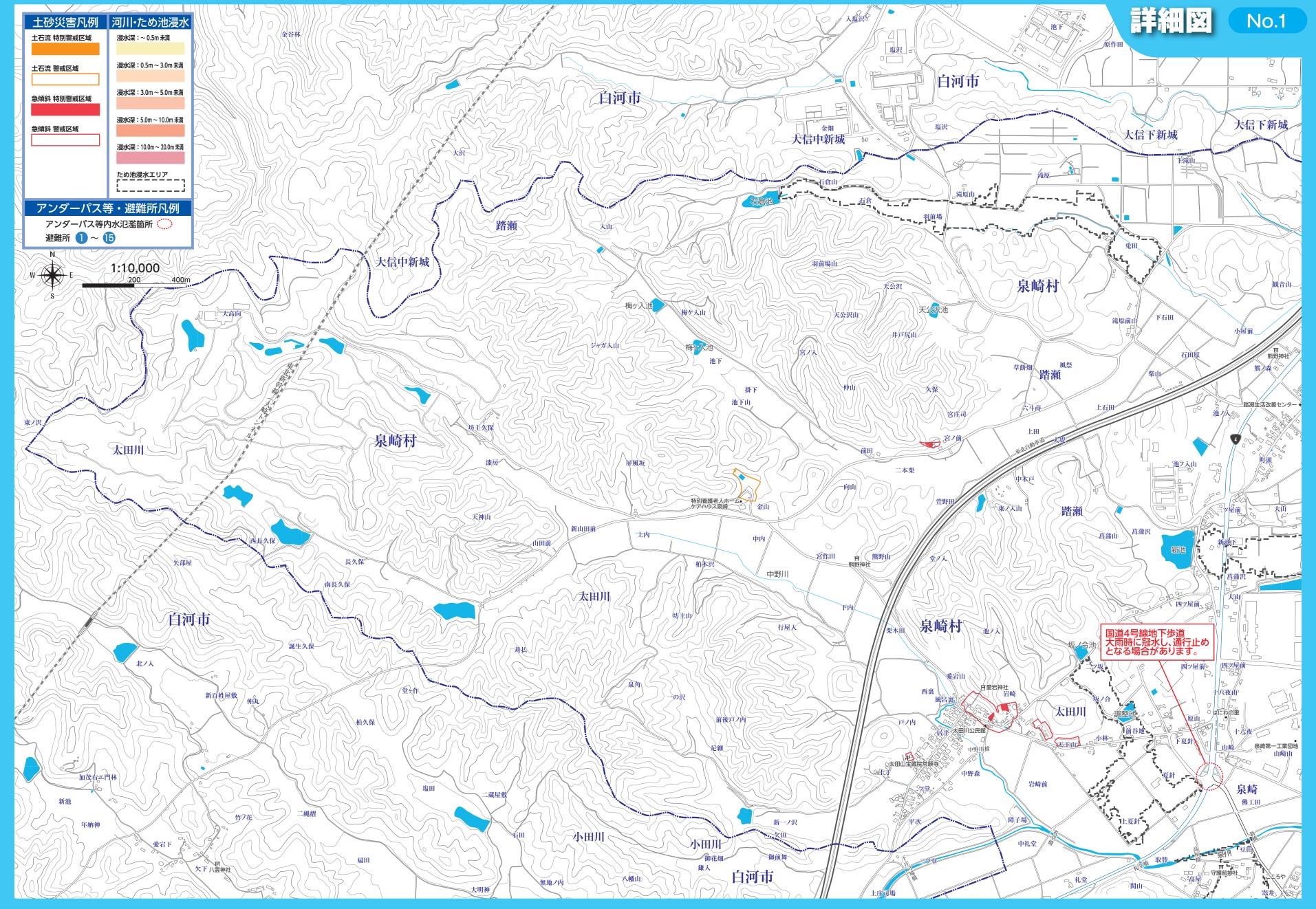
名 称	電話番号	備考
泉崎村役場代表	0248 — 53 — 2111	
泉崎村住民福祉課住民係	0248 — 53 — 2112	防災関係担当
矢吹消防署泉崎中島分署	0248 — 53 — 2978	
白河警察署	0248 — 23 — 0110	
泉崎駐在所	0248 — 53 — 2712	

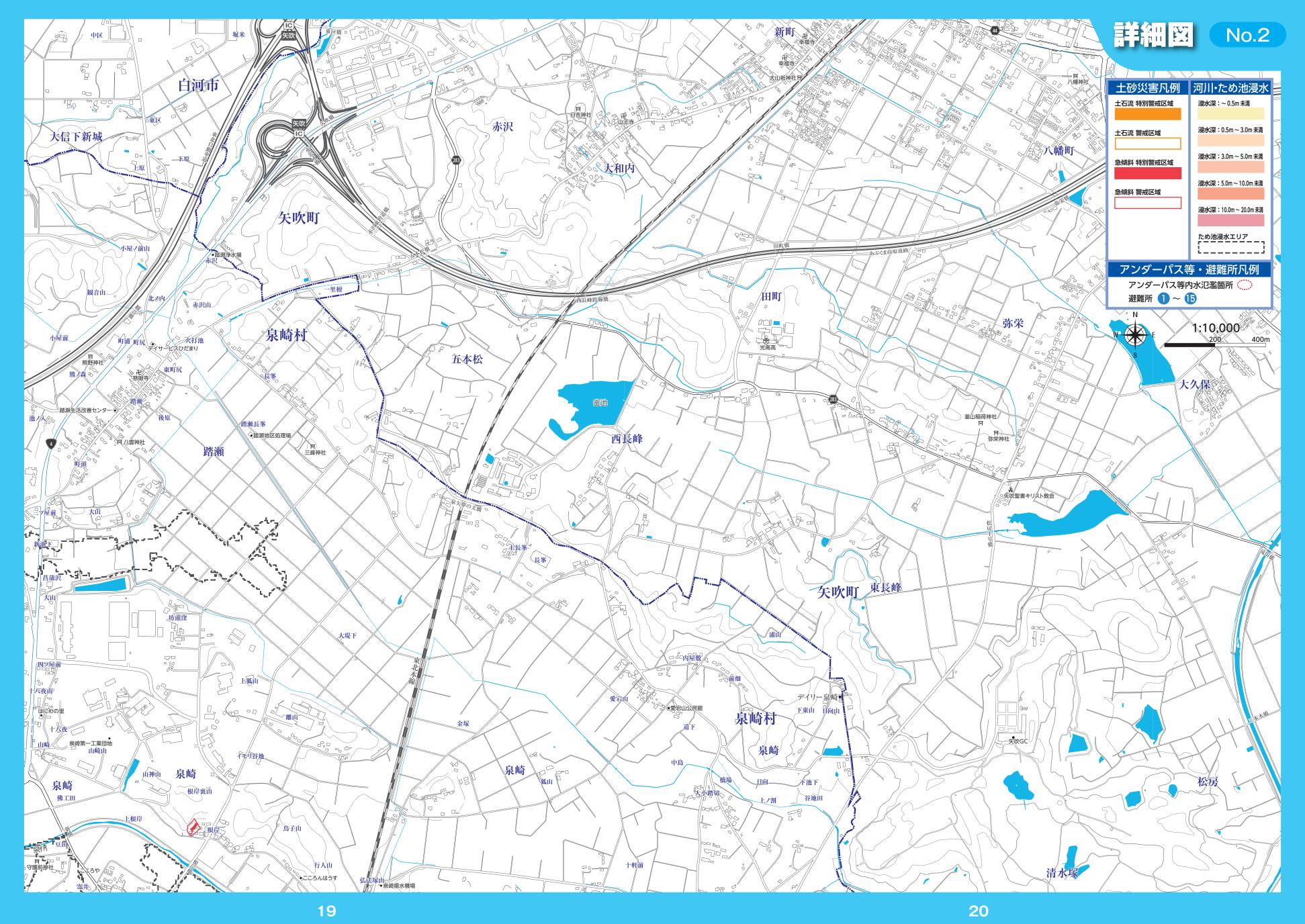
指定緊急避難場所·指定避難所·福祉避難所·AED設置一覧

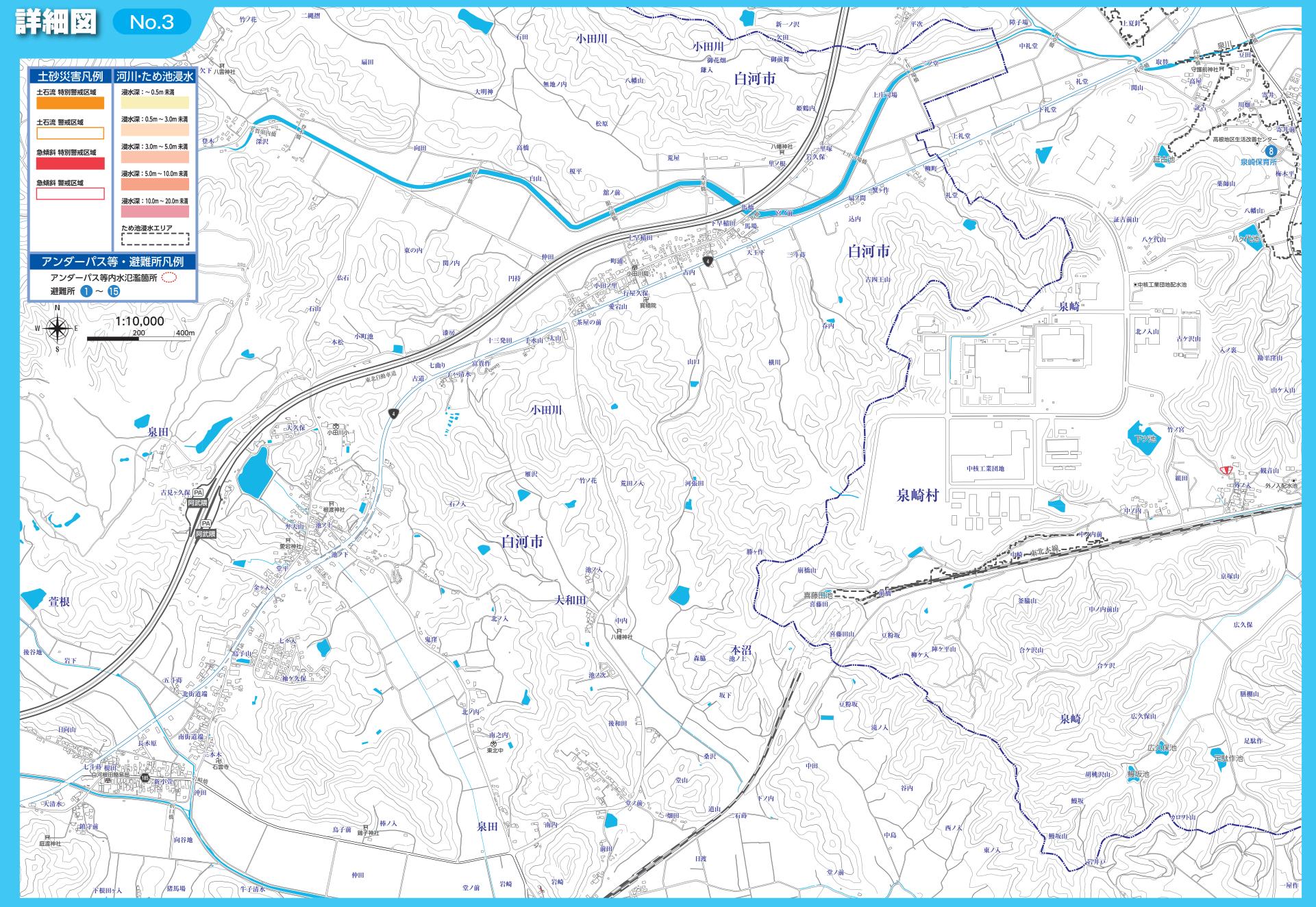
No	施設名	所 在 地	掲載頁	指定緊急避難場所	指定 避難所	福祉	AED	
1	泉崎幼稚園	泉崎村大字泉崎字八丸 100	P23	•	•		•	
2	泉崎第一小学校	泉崎村大字泉崎字高屋原 7-1	P23	•	•		•	
3	泉崎第二小学校	泉崎村大字北平山字新田東山 48-2	P24	•	•		•	
4	泉崎中学校	泉崎村大字泉崎字上陣場 14	P24	•	•		•	
5	泉崎村中央公民館 (泉崎村農村環境改善センター)	泉崎村大字北平山字高柳 88-1	P23	•	•		•	
6	泉崎村農業者トレーニング、センター	泉崎村大字泉崎字白石山 3-1	P24		•		•	
7	泉崎村資料館	泉崎村大字泉崎字舘 24-9	P23		•		•	
8	泉崎保育所	泉崎村大字泉崎字梅木平 70	P22·23		•		•	
9	泉崎村児童館	泉崎村大字関和久字八雲神社 92	P24		•		•	
10	泉崎村保健福祉総合センター	泉崎村大字泉崎字山ヶ入 101	P23	•	•	•	•	
11	関和久宿集会所	泉崎村大字関和久字下町 203	P26		•			
12	八雲地区コミュニティーセンター	泉崎村大字関和久字八雲神社 41-1	P24		•			
13	泉崎村役場	泉崎村大字泉崎字八丸 145	P23	•	•		•	
14	泉崎村防災センター	泉崎村大字泉崎字新宿 2	P23	•	•			
15	特別養護老人ホームさつきの郷	泉崎村大字泉崎字笹立山 7-1	P23			•	•	

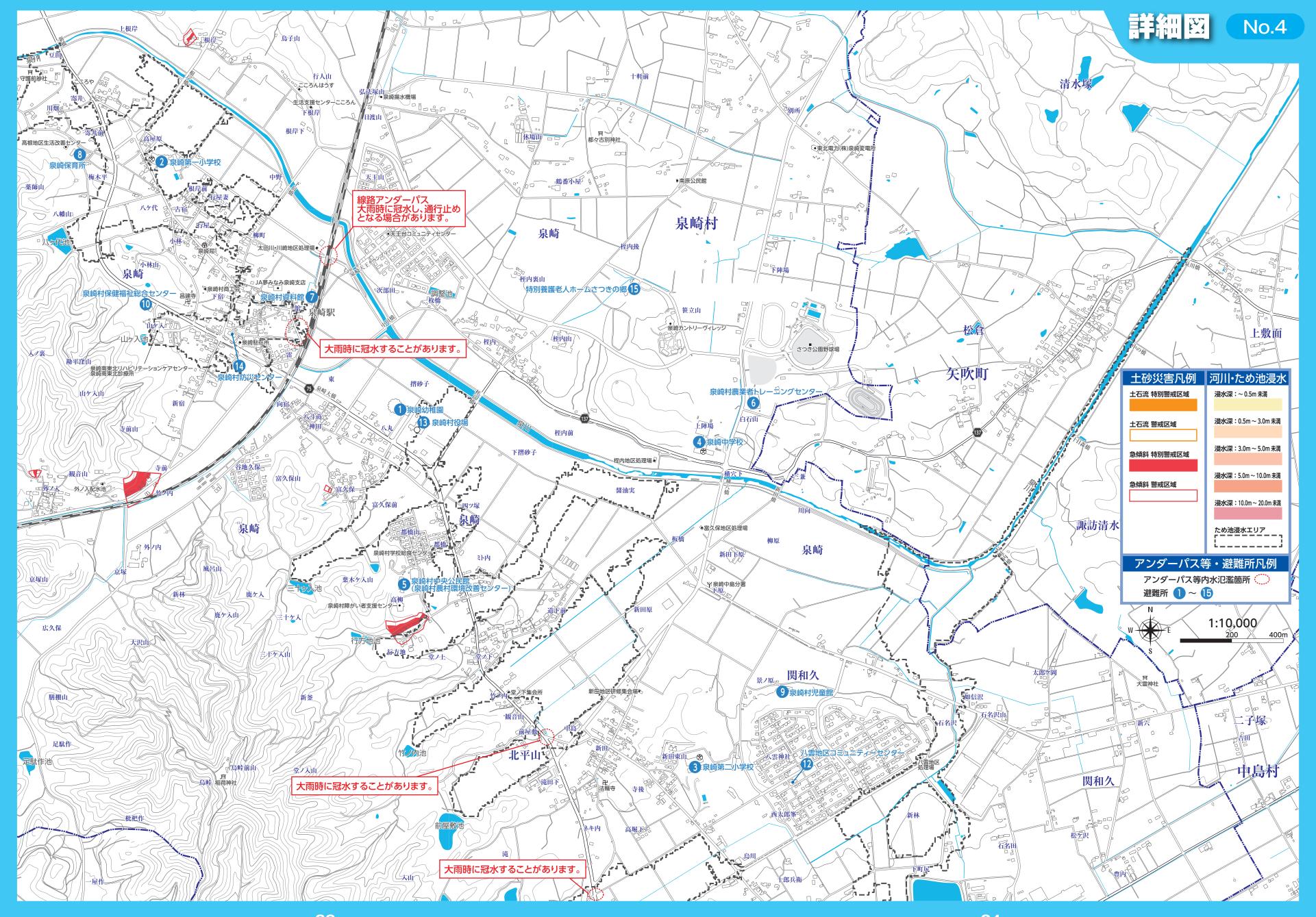
開設する避難所については、大雨・台風・地震などの状況により、防災行政無線やホームページでお知らせいたします。

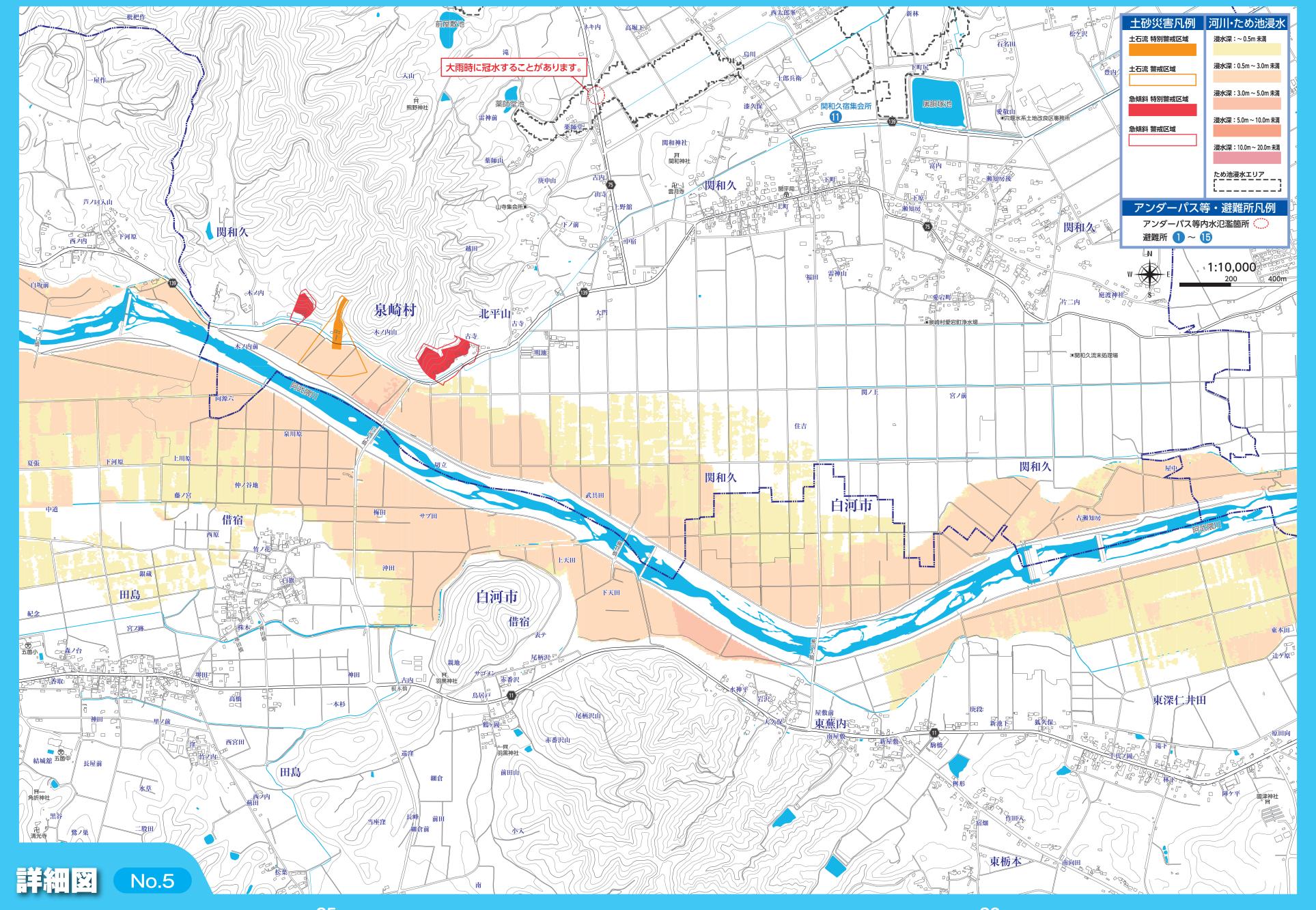












早めの避難があなたの命を救います

[洪水時には]

洪水時に堤防が決壊した場合には、氾濫水の勢いで堤防近くの家屋は破壊されたり流失したりする可能性があります。

そのようなときに避難せず家屋にとどまっていた場合には、人命に関わる事態の発生も予想されます。

洪水時には上流域も含めた雨量や河川水位情報などを早くから収集し、村からの 避難情報などにも注意しながら、堤防が決壊する前には必ず避難が完了するよう 早めの行動を心がけてください。

インターネットを利用したリアルタイム情報提供

全国の河川の「雨量」「水位」「河川予警報」等の情報をリアルタイムで 提供することにより、近年頻発している大雨・集中豪雨による水害・ 水難時の迅速・的確な避難等が可能になります。

国土交通省「川の防災情報」

- ・パソコンから https://www.river.go.jp/
- ・スマートフォンから https://river.go.jp/s/



福島県「河川流域総合情報システム」

・パソコンから https://kaseninf.pref.fukushima.jp/gis/

本書の使い方

本書は、いつ起こるかもしれない様々な災害に対し、事前に備えることを目的として作成しました。予測不可能な災害の被害を最小限にとどめるため、常日頃から内容に目を通し理解を深めていきましょう。

本書の特徴

本書は、災害時に持ち運びができるように冊子型として作成しました。 通常時は、地図部分や「わが家の防災・緊急情報メモ」ページを開いた 状態で、壁などにピン留めして掲示するか、ヒモなどでつるし身近に 置き、緊急時に持ち出してご活用ください。

発行:泉崎村(問い合わせ:住民福祉課住民係 0248-53-2112)

https://www.vill.izumizaki.fukushima.jp/

制作・著者:株式会社ゼンリン 郡山営業所

作成:令和3年3月